

令和6年7月23日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 令和6年7月23日(火曜日)

午後1時15分から午後3時15分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委員 鷲尾 達雄 委員 大久保 真紀  
委員 廣川 佳予子

4 欠席者

熊倉 達也

5 職務のため出席した者

教育部長(学校教育課長事務取扱)	竹内 正浩	子ども未来部長	星野 麻美
教育部参事(科学博物館長事務取扱)	金垣 孝二	教育総務課長	桜井 秀行
教育施設課長	吉田 朗	学務課長	大竹 美加
学校教育課部活動地域移行担当課長	石川 智雄	学校教育課主幹兼管理指導主事	玉木 暢
学校教育課主幹兼管理指導主事	佐々木 潤	学校教育課主幹兼管理指導主事	稲毛 真哉
中央図書館長	梅沢 一茂	子ども・子育て課長	深澤 寿幸
保育課長	江田 佳史	子ども家庭センター所長	大久保 千春
学校教育課学校支援係長兼指導主事	高橋 信之	学校教育課学校支援係指導主事	川口 健児

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 中村 一幸 教育総務課庶務係長 今井 香

## 7 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 23 号	令和 7 年度使用教科用図書等について

## 8 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 7 月定例会を開会します。本日は、都合により欠席の旨、熊倉委員から通知がありましたので報告します。なお、教育長及び教育委員のうち、過半数の出席を満たしていますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条の規定により、会議は成立することを報告させていただきます。それでは、本日の日程に移ります。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員の指名 について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び大久保委員を指名します。

---

### ◇日程第 2 議案第 23 号 令和 7 年度使用教科用図書等について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 23 号 令和 7 年度使用教科用図書等について を議題とします。この内容につきましては、公表前でありますので、非公開が適切ではないかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) では、非公開とします。

—会議規則第 20 条第 2 項の規定により公表しない—

---

(金澤教育長) 続きまして報告事項に移ります。

(金澤教育長) 初めに、教育委員会関係工事等の入札状況について 事務局の説明を

お願いします。

(吉田教育施設課長) 教育委員会関係工事等の入札状況についての報告は4校です。まず、宮内小学校校舎等大規模改造工事と電気設備工事です。建築の施工者は、中越・共栄・永井宮内小学校校舎等大規模改造特定共同企業体です。工期は、令和6年6月25日から令和9年3月31日の3か年になります。契約金額は、18億5,493万円です。続いて、電気設備工事の施工者は、越後交通工業・長岡電業・ウィル宮内小学校校舎等大規模改造電気設備特定共同企業体です。工期は、大規模改造工事と同じです。契約金額は2億8,875万円です。機械設備工事については、本日入札を行うことになっております。該当者があるとのことで、今後、仮契約を結ぶ予定です。次に、中之島中央小学校校舎等大規模改造工事の建築及び機械設備工事について説明します。建築の施工者は、ダイエー・吉久・今泉テント中之島中央小学校校舎等大規模改造特定共同企業体で、工期は令和6年6月25日から令和8年3月31日の2か年継続となります。金額は、11億4,290万です。同じく機械設備工事の施工者は、今泉・渡辺・新陽中之島中央小学校校舎等大規模改造機械設備特定共同企業体で、工期は建築工事と同じく2か年です。金額は、2億699万8千円です。電気設備の工事については既に契約しており、契約金額は、14億9,949万8千円です。宮内小学校の校舎の工事概要については、主な工事としてエレベーターが新設されます。次に、中之島中央小学校校舎等大規模改造工事については、エレベーターは既存であるため、仮設の工事はありません。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) 東中学校や宮内中学校のように校舎を新築する場合と、西中学校のように既存の躯体を利用する工事の場合もあります。財政面の問題もあると聞いた記憶がありますが、今回説明のあったの二つの工事は、かつてであれば新築工事をするケースになりますか。

(吉田教育施設課長) 宮内小学校の一番古い校舎は昭和57年に建てられ、44年が経っています。築年数が40年を過ぎると大規模改修の対象となり、工事をします。中之島中央小学校については、古い校舎が昭和52年に建てられ、49年が経っています。大規模改修をすることでさらに30年程使えるという見込みで工事を行います。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) 補足すると、当初は鷲尾委員のおっしゃるとおり、建

築方法で進めていましたが、今後は、長寿命化の観点から、「長岡市フェニックスプラン」として建築から40年経過した場合は基本的に大規模改修をすることで長寿命化を進めていくという動きになっています。また、統合や改築については、総合的な観点で検討していかなくてはならないと考えています。

(鷺尾教育委員) 東中学校と宮内中学校を建て替え工事をした時の校舎の築年数について教えてください。

(吉田教育施設課長) 詳細の年数を直ぐにお答えできませんが、40年は経っていたと思います。

(金澤教育長) 鷺尾委員が聞きたいことは、同じ40年でも、「長岡市フェニックスプラン」策定以前の考え方であれば、建て替えをしたのかということで、40年ではなく60年経っているなら話は別ですが、築年数について後で調べて鷺尾委員にお伝えください。

(金澤教育長) 他に御質疑はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 次に、令和5年度長岡市の児童生徒の問題行動等について事務局の説明をお願いします。

(高橋学校教育課学校支援係長兼指導主事) 文部科学省令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果の長岡市の速報値がまとまりましたので説明します。まず、1「いじめ」についてです。(1)認知件数について、令和5年度の認知件数は小学校が570件、中学校が294件、合計864件です。このうち発生から3か月を要したり、解消まで時間や対応を要する、年度をまたいで指導継続を行う件数は104件になります。(2)状況については、いじめの態様については、小学校、中学校ともに「冷やかし、からかい」が最も多くなっています。また、発見のきっかけについては、小学校では保護者からの訴え、中学校は本人の訴えが最も多くなります。続いて、(3)現状と分析です。いじめの全体の認知件数については、昨年の1.5倍に増えています。令和5年度当初から、いじめ初期対応フローの周知徹底を図り、トラブルを感度高く発見し、迅速丁寧な対応を行ってきたことが要因だと考えています。いじめの対応については、じゃれ合いがエスカレートし

でのトラブルが原因でいじめに発展する事案が多く見られます。友達とのコミュニケーションが上手に図れないことが、過度な身体接触や暴言や嫌がらせとなる一つの要因であると考えられます。なお、令和5年度はいじめ重大事態の発生はなく、内容が悪質な案件が減っていると実感していますが、いじめ初期対応フローの手順に基づいて丁寧な対応に努めていきます。いじめ見逃しゼロスクール集会などの地道な取組が、児童生徒、教職員の心に浸透していくと考えています。しかし、初期対応フローが適切に行われなかったことで、事態が深刻化、長期化するケースがあります。迅速に組織的かつ適切に対応する力を高めていくことが重要だと考えています。今後の取組としては、長岡市いじめ防止基本方針に組み込んだ「初期対応フロー」に基づく丁寧な初期対応や情報共有など、組織対応の手順について引き続き学校に周知徹底を図っていきます。さらに、昨年からはじめました、全学校を対象とした「いじめ対応研修会」を来月6日に開催します。今年度は様々な背景を捉えた関係児童生徒や保護者への対応について、丸田教授より講演いただき、加害者への指導支援について盛り込んだ講演を依頼しています。事例等のグループワークで更なる教職員の資質及び指導力の向上を図っていきます。今年度の事例については、特別総合支援学校在籍児童生徒に対する事案を取り扱いたいと考えています。続いて、2「不登校」についてです。不登校児童生徒数としては、小学校246名、中学校407名の合計653名でした。(2)状況の要因としては記載のとおりです。(3)現状と分析です。不登校児童生徒数は、令和元年度の337名から毎年約60名ずつ増加し続けていましたが、令和5年度は前年より132名増という結果です。要因としては、学校生活、家庭生活など本人自身に起因しているもの、また、幾つかの要因が複合的に重なり合っているもの等、個々の状態は様々であると認識しています。増え続けている要因として考えられることは、新型コロナ禍で様々な活動が制限され、対人関係の経験が不十分なまま数年間過ごしたため、良好な対人関係を築けずにつまづきやすくなっていることが考えられます。インターネットやスマホへの依存、生活の乱れ、友達との縁が繋がっていること、さらに、いわゆる教育機会確保法により、多様な学びを承認する考えが教職員や保護者に浸透してきていることなどの社会全体の変化も影響していると考えています。次に、中一ギャップ指数については令和4年度は減少していましたが、令和5年度は再び増加しています。中一

で増加する傾向は変わっておらず、数値については、増加が著しくなっています。引き続き、小中連携の取組強化を図ることが重要だと考えます。現状を踏まえて、

(4) 今後の取組として、不登校の取組は生徒指導上の最重要課題と位置づけ、今年度は次の取組を行っていきます。①初期段階の対応の強化として、初期対応フローに基づき、令和6年度から新たに連続欠席4日、月に7日以上は、学校が市教委と連絡をとります。情報共有と支援策を一緒に検討し、初期段階での保護者との相談を行うなど早期対応の充実を図ります。②昨年度に引き続き、児童生徒の社会的自立を目指した居場所づくりを充実させます。フレンドリールームに加えて、昨年「ほっとルーム」を開設しました。安心してやりたいことを見付け、過ごせるような居場所として、開設以来多くの児童生徒が利用しています。今年度は支援補助員を配置し支援の充実を図っています。③アウトリーチの取組の推進です。引きこもりがちな児童生徒について訪問支援員やスクール・ソーシャル・ワーカーが訪問相談を実施し、フレンドリールームやほっとルーム等の機関に繋がるように働きかけていきたいと思えます。④多様な居場所で努力している児童生徒の学習の成果を幅広く認め、社会的自立に繋げていくために、「長岡市不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱いに係るガイドライン」」を発出し、今年度より運用しています。また、新規の不登校数を抑えるために、未然防止の研究を進めています。具体的には、管理職対象の研修会を8月30日に開催します。情報交換や魅力ある学校づくりの先行事例等を紹介し、方向性を共有しながら進めます。授業イノベーションは一層の推進や良好な人間関係づくりの促進、発達に困難を抱える児童生徒への適切な支援方法を研究しつつ、不登校初期対応フローに基づき新規数の抑制に努めていきます。最後に、3「暴力行為」についてです。令和5年度は、19件あります。昨年度より1件減少です。いずれの事案も相手が重傷を負うようなケースではなく、自分の思うようにならず感情の抑制が出来ず衝動的に叩いたり、蹴ったりした行為です。また、一人の児童生徒が複数に関わっている場合も見られました。衝動的な行動による暴力行為が発生していることから、今後は、特別支援教育係や外部の専門機関と連携したケース検討を進め、一人ひとりの児童生徒の理解に努めることや個の特性に応じた配慮と対応に努めていきます。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) 今年新しく出来た、不登校の「指導要録上の出席扱いに係るガイドライン」について現場の先生からはどのような声がありますか。

(高橋学校教育課学校支援係長兼指導主事) 成績を付ける時期が9月、10月に集中しますが、具体的なケースで今まで判断に迷い分からなかった所が、記号で◎、○、△と紹介したことで分かりやすくなったという声があります。一方で、ガイドラインに載っていないケースや、イレギュラーなケースに関しては問い合わせがあります。御意見を集約しながら改定作業を進めていく予定です。

(廣川委員) ガイドラインに当てはまらないケースが集まりつつあって、ガイドラインを作り変えて反映させていくイメージですか。

(高橋学校教育課学校支援係長兼指導主事) 基本的には令和元年度に文科省の通知に従いつつ、長岡市の子どもたちのために考えたものを作っていきたいと考えています。

(金澤教育長) その他、御質疑ありますか。

(鷲尾委員) 不登校が増える要因として、対人関係の経験不足があるのではないのでしょうか。新型コロナ禍の3・4年は極端な年だったかもしれないが、今後も人間関係、対人関係をどう積んでいくか。例えば、面倒な先輩にどう付き合うか、言うことを聞かない後輩をどう面倒見るかなどの経験が、社会に出てからの類似体験になっていたように思っていますが、部活が地域移行することもあるため、部活動に限ったことではなく、対人関係における経験を中学生が中学校内で深めていくために、学校は何をすべきでしょうか。

(高橋学校教育課学校支援係長兼指導主事) 不登校児童生徒は、対人関係の接触や人と関わることに非常に不安を感じるという児童生徒が多いとフリースクール等の方々から聞いています。その不安がどこからくるのかというと、やはり自信が無い。当たり前ですが、自信を付けさせる術、経験を学校教育の中でしっかりやっていく必要がありますし、認められるような関係を巧く作る必要があると実感しています。

(鷲尾委員) 具体的な内容を教えてください。

(高橋学校教育課学校支援係長兼指導主事) 人間関係作りのソーシャルスキルトレーニングや、グループカウンターなど、対人関係のスキルを作るために校長がリーダーシップをとり、各学級ごとではなく、学校全体で取り組んでいく必要があると感じています。

(金澤教育長) 校長の経験がある方から御意見をお願いします。

(玉木学校教育課主幹兼管理指導主事) それはすごく大きな課題であるということで、部活同地域移行担当課長とも話をしていたところです。中学校は、対人関係を経験する機会を部活動に頼っていたところがあり、今後、校長自体がどういう学校づくりをしていくかが大きな課題であると認識しています。石川課長と話をしてすごく考えたのが、学校行事は体育祭や合唱コンクールなど色々ありますが、その活動の中で、もっとこういうのを育てようという目的を設定し、そこに重点を置きながらしっかり取り組むとか、既存の委員会活動は縦割り活動になるので、どう充実させ、どこに重点を置くかなど、部活動が地域移行しても、そういった活動の中で子どもたちが色々な関りを学んでいく。学校が全てをするのではなく、関係機関と連携を取りながら、色々な所で子どもたちの人間関係作りを育てていく必要があると考えています。

(佐々木学校教育課主幹兼管理指導主事) 今話があったようなキャリア教育の側面を、学校教育の中で強く打ち出していく必要があると思います。例えば、委員会活動や特別活動において子ども同士がどう折り合いをつけていくのかを考えさせる機会を充実させる。また、道徳の中で、実際の生き方として道徳性はどういうものが必要なのかを真剣に考える、さらに、総合的な学習の時間の中で、地域に出て地域の人たちと町のあり方について子どもも同じ目線で一緒に考える。このようなことを一体的に充実させることにより、課題になっている人間関係などにも強く耐えられるような子どもたちを育てていくことに繋がると思います。力をどう入れるかが校長、それから学校の課題だと捉えています。

(稲毛学校教育課主幹兼管理指導主事) 管理職対象の研修会の中で、色々な側面からのアプローチが大事であるという話を学校に伝えるなかで、中学校の校長に対しては部活動と生徒指導についてどう関わっていき、どう改善していくかについてアプローチして行きたいと考えています。

(金澤教育長) 人間関係づくりの経験が部活動によるところが多いという話でしたが、部活動が地域移行される予定の中、部活動地域移行担当課長としてはどのようにお考えですか。

(石川学校教育課部活動地域移行担当課長) 学校の意識をどれだけ変えられるかが、スタートの一番大きなポイントになります。玉木管理指導主事が話していたように、これまでは、

地域移行について現場はどのようにしたら良いのかということに議論が集中していましたが、今後は、そこで空いた穴を何で補うのかを議論する必要があります。と言っても、新たなものを作り上げるとなると更に大変になりますので、この問題を校長や教頭を含めたなかで考える機会を作り、変換をしなくてはいけない時期になってきたところです。他の市町村は、どちらかという部活動地域移行をスポーツ・文化と捉え、社会教育の担当部署が検討を進めているなかで、長岡市は教育長の思いもあり、子どもたちのために教育委員会がずっと関わっていくという姿勢で検討を進めています。学校の先生方が理解をしないと、「地域に移ったから知らない」、「連携するといっても関係ない」と考えてしまう雰囲気は若干感じられるため、子どもを複数の目で見えていくという意識をどうしたら持ってもらえるかを考えて相談しているところです。様々な配慮をしなくてはいけない世の中になっていますが、引き続き考えていきたいと思えます。

(金澤教育長) 長岡市の地域移行は、地域クラブは部活動の良さをそのまま引き継ぎましょうということなので、地域クラブの中で今まで部活動で培われた学びができるように頑張っていますので、引き続き検討をよろしくお願いします。

(金澤教育長) 他に、御質疑はありませんか。

(大久保委員) いじめの認知件数が増えたのは、現状と分析の所で「初期対応フロー」の徹底が図られたこととありますが、フローが徹底されたことによって、発見のきっかけに変化はありましたか。

(高橋学校教育課学校支援係長兼指導主事) 小学校では、学校内で見ていた児童が先生に報告をする割合が非常に増えました。中学校においては、本人も同様に多いのですが、他の生徒が発見し報告するなど、教員による発見についても報告がありました。

(金澤教育長) 見て見ぬふりをする児童生徒が減ったこと、傍観者が減ったことも良いことだと思います。

(金澤教育長) 他に、御質疑はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 次に、長岡市予防接種事故災害補償規程の一部改正について事務局の説明をお願いします。

(深澤子ども・子育て課長) 長岡市予防接種事故災害補償規程の一部改正について説明します。初めに、改正理由は、令和6年4月1日の全国市長会予防接種事故賠償保障保険特約書の一部改正に伴い、これを参照する本規定の条文を改正するものです。次に、改正内容については、第5条第1項第2号中の補償金額を変更するほか、所要の改正を行うものです。最後に、施行期日については、公表の日とします。なお、改正後の補償金額の規定は、令和6年4月1日以後に発見された事故に係る保障から適用します。条文及び新旧対照表については、記載のとおりです。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(吉田教育施設課長) 先程質問がありました、東中学校と宮内中学校の件について回答します。東中学校、宮内中学校共に、建築は昭和36年で、両校とも改築する時は、東中学校は新築工事をした平成19、20年時点で47年経っていた時になります。宮内中学校については平成22年、23年に新築工事をしていますので、49年、50年経ってからの改築になります。それ以降の平成27年8月に「長岡市学校施設長期保全・再生計画（スクールフェニックスプラン）」の長寿命化計画をたちあげました。

(金澤教育長) 長寿命化をする建物より若干古く、50年近く経っているということですね。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) 耐震基準が昭和58年に変わる以前の建物には、手厚い大規模改修になっているのが現状です。

(鷲尾委員) 耐震工事と長寿命化工事は別のカテゴリーだと聞いたことがありますが、今後の長寿命化について分かる範囲で教えてください。

(吉田教育施設課長) 耐震工事は平成27年に終了していますが、躯体の補強工事としての長寿命化については、断熱工事としてサッシを断熱効果のあるものに交換したり、天井を断熱性のあるものに変えたりします。また、学校の学習内容に合わせて部屋を間仕切り変更するなどが主になります。トイレを洋式化に変更し、設備に合わせた空調に変えるなどの工事を進め、新しい時代に対応できる建物を作っていくこととなります。耐震工事は、地震が来た際に建物が崩れないようにするため

の工事になります。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) 東中学校と宮内中学校の新しい学習形態パターンを、本来であれば他の学校についても改築する時に入れられると良いのですが、長寿命化の工事や耐震工事など、子どもたちが安心安全で快適に勉強できる環境をとという部分と、ICT教育に対応した教室形式などに重きをおいた工事もあるため、それぞれの学校のポリシーを持って行く方向の工事にできればと思っています。

---

(金澤教育長) 次に、催し案内等について説明願います。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) 催し案内1番、北陸学園とタイアップして「夢づくり親子cooking」を7月31日に開催します。2番「Nagaoka kids English LAB」は、ミライエ長岡で、長岡市に勤務するALTとの英会話イベントです。日常生活を設定したブースを作り、色々な場면을体験できます。学校の授業と違う形で英語に触れることができます。3番の「科学研究相談」は、子どもたちが夏休みに取り組む科学研究に対する支援として相談会を行います。オンライン相談にも対応します。4番目は、「小中学生望遠鏡操作講習・天体観察会」を、8月20日、10月10日、12月10日に開催します。

(梅沢中央図書館長) 5番「中学生一日図書館員」は、中学生が図書館員業務を体験するイベントで、申し込み日には定員となる人気の企画です。6番は現在、栃尾美術館で開催している「星野道夫展」の星野道夫氏の奥様である星野直子さんを講師にお迎えして、長岡造形大学デザイン学科准教授 山田博行氏と一緒に講演していただきます。

(金垣教育部参事(科学博物館長事務取扱)) 「第12回長岡藩主牧野家の至宝展」は数年ぶりに開催します。第11代藩主牧野忠恭の肖像画を寄贈されたことを受けて、戊辰戦争前後の忠恭と藩士のらの姿を紹介します。牧野名誉館長が解説をしたり、小中学生向けに戊辰戦争ゆかりの地をめぐるバスツアーを開催したりします。牧野家ゆかりの扇コレクションも同時に開催します。次に、11番「中之島地域図書館昆虫標本展」は図書館と科学博物館のコラボ企画で、昆虫標本を関連図書とともに展示します。

(深澤子ども・子育て課長) 「子育てガイド」は妊娠期から主に小学生までの長岡市の子育てに関する情報、相談窓口、施設などを紹介するガイドブックです。年一

回発行しており、母子手帳交付の際や子育ての駅に配置しています。現在、来年度に向けて「子育てガイド」の電子化を検討しています。

(金澤教育長) 何か、御質疑はありませんか。

(金澤教育長) ネイチャートークは県教育委員会が後援しているのですか。

(金垣教育部参事(科学博物館長事務取扱)) 自然科学系のイベントについて、県教育委員会に後援を依頼することがあります。

(金澤教育長) 昆虫標本展示などの企画には後援依頼をしたのですか。

(金垣教育部参事(科学博物館長事務取扱)) 昆虫標本展は図書館で行う展示で、後援依頼は出していません。

(金澤教育長) その他に報告事項はありませんか。

(石川学校教育課部活動地域移行担当課長) 「部活動の地域移行 NEWS」を御覧ください。地域クラブ活動の推進に向け新たな一歩として、長岡市及び長岡市教育委員会が、地域クラブの実施体制において大きな役割を担う長岡市スポーツ協会、長岡市芸術文化振興財団と4者協定の締結式を行いました。当日はU X等の報道機関で報道されました。全国の読売新聞の記事に間もなく掲載される予定です。4者協定とした理由については、事務的な業務を一手にスポーツ協会に担っていただくことで各クラブの手間が減り、お金の処理や管理ができることに加え、文化部も担うために芸文財団に声をかけ、4者で協定を結ぶこととしたものです。それにより、全ての子どもたちの事務が円滑に進められることとなります。併せて、締結をきっかけとして、指導者の募集を開始しました。既にスポーツ協会と芸文財団から関係の方へはSNS等でお知らせしていますが、市内の各施設にチラシを置かせていただき、明後日は、長岡技術科学大学と長岡造形大学への御案内、先週は、新潟医療福祉大学に協力依頼をしており、概ね各大学側も前向きに取り組んでくれるということです。今後は企業、商工会を含めて協力依頼をしながら人材確保に努めていきます。見守り隊というかたちもありますので、皆様も是非、御協力いただきたいと思えます。

---

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員